

浜松文芸館だより

No.87

いざない

公益財団法人 浜松市文化振興財団

発行 浜松文芸館(文責:伊熊)

令和8年 3月

春から初夏へ、文芸館では新展示になりました。 クリエイト浜松 5階 * 入場料無料

特別収蔵展

まつしまじっこ
【俳人松島十湖没後 100 年記念】

じっこ かとうせつちよう
旧派の十湖と新派の加藤雪腸…二人展

令和8年3月1日(日)~6月14日(日) 9:00~17:00

天竜川にかかる「かささぎ大橋」の西岸、豊西生まれ、明治から大正の時代に「今芭蕉」と呼ばれ、活躍した俳人松島十湖が亡くなって没後 100 年になります。句碑も数多く残されています。

一方、明治から昭和初頭、正岡子規の門下として、浜松中学(現在の浜松北高)に教師として赴任した加藤雪腸は、俳句、短歌の革新に情熱をそそぎ、当時の文芸界に大きな影響を与えました。

十湖は、子規が批判した、宗匠として「月並み会」を催し、俳諧としてたしなむ江戸時代からの伝統を大切にする『旧派』の代表的な存在であり、雪腸は、子規の俳諧から俳句へ、高い文化性を主張する『新派』の浜松における開拓者的な存在でした。立場は異なる両者ですが、確かな交わりがあり、それぞれに俳人として活躍しました。十湖没後 100 年の節目の年、二人の生涯や作品を紹介する展示を企画しました。ぜひご覧ください。



子規庵の紹介

正岡子規の直弟子：加藤雪腸らの紹介



大迫力の書

今芭蕉と呼ばれた松島十湖の紹介

文芸館職員のおすすめポイント、見どころ…

☆≡ 夏目漱石の自筆漢詩 石川啄木の自筆書簡 河東碧梧桐の自筆書簡などを展示

☆≡ 「十湖発句集」「俳人松島十湖の痛快人生」など手に取って閲覧できるコーナーがあります。

☆≡ 十湖賞俳句大会の受賞作品を一挙展示 受賞作の紹介冊子や俳句創作ノートもお持ち帰りいただけます。〈在庫がなくなり次第終了 お早めにお越しください〉